

職場の過労死不安と予防対策の調査のお願い

理事長 福地 保馬
責任者 田村 昭彦

日頃の全国センターへ活動へのご協力に感謝いたします。

全国センターはこの7月から「職場の過労死不安要因と予防対策の調査」をはじめます。この調査は、全国センターが労働組合と共同して、初めて全国規模で本格的に職場の健康問題を体系だてて行なうものです。職場で過労死・過労自殺をなくし、いのちと健康をまもるために職場での予防活動に生かしてゆく調査です。

いま職場では、労働者の過労死・過労自殺不安、メンタルヘルス（心の健康）問題が広がっています。労働者・労働組合にとって、健康を守るためにそれに対する予防対策が切実に求められています。そのため、今回全国センターは労働組合と共同して全国規模で「職場の過労死不安と予防対策の調査」を7月～8月にかけて行ないます。

調査内容は、職場での過労死、過労自殺、在職死亡の現状やその要因となる長時間労働、過重労働の実態、裁量労働、労働安全衛生の管理体制や労働安全衛生活動などの職場の健康実態を調べるものです。

そして、この調査結果は、今後、職場で健康を守りながら働くことができ、過労死・過労自殺予防のための職場点検リストや職場活動マニュアルをつくる資料として活用してゆきます。

調査は、別紙の調査票により、500 職場以上を集約目標とします。

調査方法は、調査票を職場ごとに記入して、産別労働組合、地方組織で集取してもらい、全国センターで最終集約します。産別労働組合には、調査票をPDFファイル・清刷印刷原紙をお送りしますので、各産別で印刷配布をお願いします。全国センターホーム・ページでも調査票を掲載しますので、それを活用いただいても結構です。

調査時期は、04年7月～8月の2ヶ月間とします。（締め切りは8月31日とします）

調査結果は、集約した調査票を9月～11月にかけて入力し、共同して分析・検討します。その内容を協力いただいた産別労働組合に職場での予防活動に活用してもらうためにお返しします。また、「過労死・過労自殺研究集会」（11月23日・全労連会館2Fホール）でも報告し、全国センターのホームページなどで公表します。

また、20以上職場を集約された産別組合には、全体のまとめと合わせて各産別の特徴をまとめます。調査にご協力いただいた産別組合には産別のデーターを職場の予防活動に役立てるために提供します。そのためデーター入力、分析・検討、財政措置など一定ご協力いただくことを考えています。

<連絡先>働くもののいのちと健康を守る全国センター

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館6F

TEL 03-5842-5601 FAX 03-5842-5602

e-mail info@inoken.gr.jp